

からす新聞

第17号

秋



発行所 東京都中野区中央5丁目1番2号西田ビル4階 〒164-0011 からす新聞本社 電話03-3382-5963 ©からす新聞本社 からすホームページ http://www.go-karasu.com/ 投書・お問い合わせのE-mail : colors@go-karasu.com

この夏、何度か散歩をした。散歩と言っ たって、我が団地内、あるいは、その近辺をうろつろしただけのことだ。それでも、出不精の私としては、かなり特別なことではある。

デジタル・カメラを片手に、もう一方には、缶入りの、ジュースのようなお酒を持って、夕闇迫る阿佐ヶ谷団地を、善福寺川の辺を歩 く。気に入った景色に出喰わずと、立ち止まっ てシャッターを切る。そんなことの繰り返し。

何十年も見慣れてきたはずの風景、もちろん、全く変わっていないわけではないし、そもそも、私の方も変わっているはずだ。だが、明け方、ゴミを捨てに行くときに眺める景色とは違った美しさを、あるいは、美しくなさを、そこここで発見した。

視界に入っては通り過ぎる光景の、何か心がにひつかかり、シャッターを切らせる。善福寺川、駐車場、「犬を入れるな」という看板、団地の案内図、錆びたブランコ、桃色の花、黄色い花、給水塔。

中学校の屋上から眺めた記憶の中の給水塔

今日の紙面

- 二面 オーラ面) 松本と話そう。ピン、ボン、パン
- 三面(芸術面) レイス・ギャラリー
- 四・五面 アメリカンレポート) ヤンヒポ・イン・ニューヨーク
- 六面(詩面) みんなの詩
- 七面(語面) 模擬試験

と、今、目の前にある給水塔、同じものなのか、違うものなのか。そんなことを考えている私自身も、次にこの前を通るときには、記憶の中の存在になっっているはずだ。そうすると、記憶の中の記憶の中の給水塔と記憶の中の給水塔と目の前にある給水塔とは……そんなことを考えながらシャッターを切る。待てよ。次回を待たずしても、そもそも、今、目の前の給水塔はシャッターを切った瞬間の給水塔と同じだと言えるのだろうか。刻一刻と沈んでゆく陽光の光。給水塔はじわじわと宵闇の中に埋もれてゆく。雲間から漏れる月明かりの中で見ても、朝日の中で見ても、早天の陽光の中で見ても、給水塔は給水塔だよ。それはそうだ。けれども、

数蚊に刺されながら、仰ぎ見る給水塔が急速に光を失ってゆく姿は、ぼくだっていつまでも変わらないわけじゃないよ、と、そんなことを言っているような気がした。

向かいのばか猫と一頻り遊んでから、家に帰り、マッキントッシュの中に、画像を取り込ん

(八面に続く)

からす新聞は学習塾カラーズが母体となつて、世界に文化と芸術を発信すべく発行している新聞です。誰でも自由に参加できます(無茶しやない範囲で)。



松本と話そう。ピン、ポン、パン

ジョン、元気? やっと、秋だね。1年のうちでどんな季節も好きだけど、この夏から秋へと移行行く時期は、特別だね。こう感じるんだ。1年は、人間の呼吸、いや、人間っていうのはおかしい、万物が呼吸してんだから、つまり、呼吸でいうと、今頃から大晦日まで吸いこむ時で、正月に一旦、停止し、しばらくして吐く行為に移り、吐き終わるのがお盆で、またしばらく停止する。そしてまた、今頃から吸いに入るって。ちょっと前、残暑の頃って、空気が凝んでいる。いろんな老廃物がいたるところに浮いているよう。さらに、あのツクツクボウシといった蝉のBGMまで漂う。そこに、空気の流れが、呼吸によってもたらされる。吸いこむことで体内に酸素が補われ、細胞の一つ一つが活性化するように、これからこの空気に、酸素が補われる。そうか、どうりで、秋は台風の季節だったんだ。

曲と詞が最近、浮かばない。え? いや、そのひと月とか、そんな単位でなくて、30越えてから、その度合いが強まり、今に至るような気がする。あっ、そうなんだよね。‘イマジン’書いたのはジョンが31の時だったんだ。じゃあ、‘ゴッド’とか‘ラヴ’書いたのは30のときか。分かる、その辺りの時期ってテンション凄く高かったもんね。ビートルズっていう服、脱ぎ捨てて、素っ裸っていう感じだったんだよね。なるほど、脱皮か。嫌が応でもやんなきゃならなかったっていう。やんないなら、生命活動がストップし、死んじゃうっていう。でもさ、脱皮で、すごく苦痛伴うでしょ? うん、それは、あの時期の歌詞でわかる。あ、それもわかる。一種、心地よい高揚感、一種の快樂ね。だって、あのファーストアルバムで頭に浮かぶ絵は、ジョンが大声出して泣きわめいている姿と、洋子に寄り添い、それこそお互いのゆったりとした鼓動を感じ合いながらボーっとしている姿だもん。WAR & PEACEだね。

いま、ふと、思ったんだけど、ジョンは常に何かから脱皮しようとしてたよね。あ、そう、当たり前か、生きていたかったから。でも、死んだまま生きて行くことも可能でしょ。いや、ちがう、オレはそれを肯定なんかしてない。逆だね。だから、‘RAIN’の‘If the rain comes, they run and hide their heads. They might as well be dead.’ってところは、‘they’って誰のことが気付いたときは涙が出そうなくらい嬉しかった。雨が降ったら、濡れることってどんなものなのか感じようとしもない、濡れるのはまずいって決めてかかっている、退屈な面白くも無い連中。そう、ジョンが歌ったように奴らは死んでいるようなものだと思う。死んだまま生きて行っている連中だよ。決して脱皮なんかしない、世の中の多数を占める、‘大人’の皆さん。ハ? え? 何? 、 、 、そんなこと思うわけないよ。でも、正直言ううと(笑) 死んでると楽なんだろうな、って考えたことはある。でも、感じまくること、考え抜くことの方を選んじゃう。それで、気が狂って、たとえ死んだとしても。そして、それは死なんかじゃなく、新たな生への一歩だと思う。え? ありがとう。(笑) そういえば、リンゴがなんかのインタビューでジョンのことを、さあ、崖から飛び降りようかどうしようかってときに、何やってんだ、行けよ、って後ろから押したり、さあ、プールに飛び込もうとしたら、もう向こう側に着いてプールから上がっていたりするよな奴だ、って言っていたよ。ハハハ、同感! もしかしたら、途中で溺れるかもしれないよ。うん、3人共ね。ハハハハ、それで今、イエローサブマリンに乗り込むってわけか。じゃ、ずっと上がれないんだ。でも、ジョージは違うんだらうって思ってたよ。あ、そうなの? そこまで言う?

さっき、言った、曲や詞が浮かばない原因は、自分なりに分かっている。次への脱皮の、一歩手前で、脱皮しようとしている対象である、自分と、脱皮後の自分の像が曖昧なままにいるから。さっきも言ったように、感じまくり、考え抜くことがまだ足りてないということだと思う。えっ? そう? どこが? ん。。。。。。。なんでだろうね。確かに。そうだね、それは、なんかのインタビューでジョンが言ったのを知ってる。確かに、ほんとうにそれがリアルならば、考

えたりする暇さえない。もしそれがあんならある分だけリアルでなくなる、たとえば、今、溺れ死のうとしてる人が、‘今、自分は死に向かおうとしていて、そのためには君の手が必要だ。’なんて考えない、無我夢中で、‘HELP!’って叫ぶはずだ、ってやつだよ。それは、ジョンの曲の、‘Don't let me down’とか、‘I want you’にも通じると思う。つまり、考え抜くなんて言ってる間は、それはリアルでないってことを言いたいんでしょ。間があるって。リアルであること、つまり、常に感じまくっている状態は、ものすごいエネルギーが自分の中に入ってくるし、それだから、自分というフィルターを通して出て行くものも凄いものになるんだよね。凄い音楽だったり、詩だったり、絵画だったり。なんだ、ハハ、基本的なことだったな。なんでこんなこと、忘れていたんだらう? あ、それもどっかのインタビューでも言ってたでしょ? ‘自分の直感だけがすべてだ。’か。ジョン、オレだって、今までずっとそれで生きてきた。。。。。。はずだったんだけど、ああ、なんか余計な服を着始めていたな、そう、下らない、‘大人’というエンブレムの付いたやつ。なんでだらう? 気付いてよかった。さあ、裸になろう。今夜は、久々に、ジョンの‘レイン’をきいて寝るよ。おやすみ。あ、あと、今度曲できたら、聞いてコメント欲しいな。

RAIN <John Lennon & Paul McCartney> (1966)

雨になると、あいつらすぐに雨宿りしやがる。
あいつら、魂、宿ってないね。
雨になったら。間違いなくそうしやがる。

太陽が照ってると、あいつらすぐに日陰に入る。
そして、チビチビ冷たいもの飲みやがる。
太陽が照ったら。決まってそう。

雨だよ。悪くはないね。
太陽だ。天気はいいね。

雨になったって
全然、どうってことないんだって
見せてあげようか。オレにはできるよ。

雨か。だから?
太陽か。天気がいいだけのことだらう?

耳に入っているか?
そんなの、気持ちが決めるんだよ。
聞こえてんのか? どうなんだよ?

<日本語化は ピンポンパン松本 経由。 >

PS. ジョン、10/9、‘John Winston Ono Lennon’としての59回目の誕生日、祝福する。

iwao m

All We Need
Is
Love

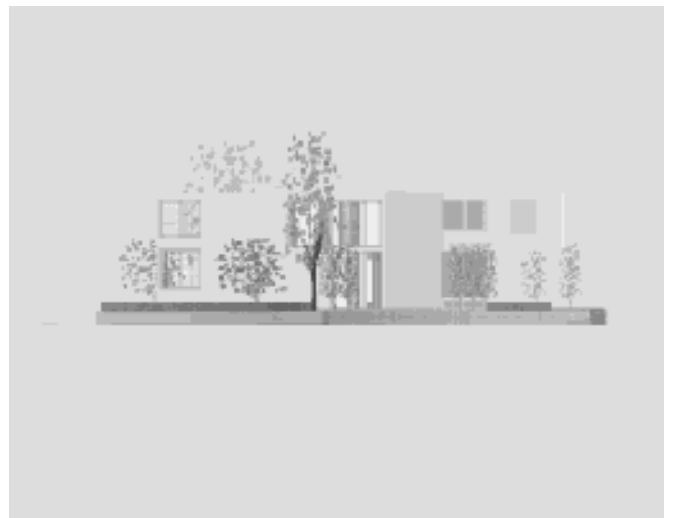
Rei's Gallerly



中國料理

コウ テン エン
廣天園
ユウ コウ エン
裕香園

好吃好香



Ken-ichi Shinozaki, architect

4-3-44-1 Narita-higashi, Suginami-ku, Tokyo,
Telephone & Facsimile: 81-3-3220-0633;
e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp

篠崎健一アトリエ

らなくても確実に伝わって来る。さらに特筆すべき点はビデオカメラなど最新の武器を大変上手く使っていて、その辺りも時代の最先端を走っていると思われる。前にも書いたが映画世代のヤンヒポとしては、ライブでも映画に匹敵するエンターテインメントを体験できた事は非常に未知な可能性を感じる事ができた。兔に角、めっちゃめっちゃクールなパフォーマンスなのだ。

兔にも角にもN.Y.のショウビズはやはり世界最高峰なのだろう。話に聞くと、どんなにトニー賞を受賞したミュージカルでも観客の入りが悪ければ半年の予定が3週間で打ちきりもざらだそう。そしてまた次の出し物をかける。逆にどんな端役でも舞台に立っている間はギャラもそれなりに支払われて、やって行けるようだ。日本では舞台俳優も映画俳優もテレビ俳優もアイドルもパフォーマーも一緒にだが、向こうにはきちんとした棲み分けが有りそれぞれで十分ビジネスとして成り立っている。そうやって個々の技量を切磋琢磨の中からブラッシュ・アップして行くようだ。当然、レベルは高いわなあ。

という事で、次回につづく。



ヤンヒポのビバ
N.Y.

ヤンヒポのピバN.Y(3)



さて今回は、N.Y.と言えばブロードウェイ・ミュージカル。エンターテインメント関係から始めよう。

今回の工程で最初から決めて行ったのは「シカゴ(CHICAGO)」という日本でもかかった事の有るミュージカルだ。やはりブロードウェイ・ミュージカルは世界中から見に来るらしく、有名どころは早くからチケットを押さえないと入手困難らしい。最近までブロードウェイナンバーワンだった「CHICAGO」を抜いて一番人気の「LION KING」は既に1999年分のチケットは完売よたんになっている。噂では役者が本当にライオンに見えてしまうらしい。余談だが、米国以外での公演も多く日本でも数多くのミュージカルがかかっているが、その間本国の公演を中断することは無い。地方巡業には二軍が出張するのだ。だから最高の舞台はN.Y.のブロードウェイで見る一軍でしか無いのだ。

「CHICAGO」はブロードウェイの中心、タイムズスクエアから3分ぐらいの「SHYBERT THEATRE」という所がかかっている。そのこのエントランスには「A Chorus Line」のホームシアターだったと書かれていた。さて感想についてだが、実際問題、正直なところあまり面白く無かった。確かに役者の歌唱力、演技力には脱帽だったが筋は非常に単純で映画世代の自分としては物足りなさを感じずにはいられない。ミュージカル独特の魅力けんたを見いだすにはもう少し時間がかかりそうだ。しかし、役者の美形度けんたは桁外れだった。見るよりお友達になる方が楽しいんだろう。中でもケイトリン・カーター(Caitlin Carter)という役者は絶品だ。また読者で一軍の「CHICAGO」を見る機会があればロイ・ビーン(Roy Bean)という役者に是非注目して欲しい。詳しくは見てからのお楽しみだ。ま、夢見る少女が夢破れてN.Y.の喧騒けんそうに吞まれててイク姿が目に見えな、ショー・ビジネスって。

読者諸兄はオフ・ブロードウェイという言葉を知っているだろうか。さらにオフ・ブロードウェイという言葉も有る。これらは、単純に客席の数で分けられている事を御存知だろうか。客席数が100人以下をオフ・ブロードウェイ、300人以下をオフ・ブロードウェイ、それ以上をブロードウェイという風に分けている。だから立地条件とは全く関係無い。今回はそんなオフ・ブロードウェイに分類されているN.Y.ならではのパフォーマンスを見てきたのだ。もちろんこれも米国各地で公演されているので、N.Y.は当然一軍だ。その名も「BLUE MAN GROUP TUBES」と言う。いやー、青いんですよ。場所はユニオンスクエアから少し南に下ったイーストビレッジに有る「Astor Place Theatre」という所。このパフォーマンスはオフ・ブロードウェイの中で一番人気とされていてチケットをやっとの思いでダフ屋から入手、通常のルートだと一切無かった。額面55ドルのチケットを85ドルでようやく買ったのだ。当日、ホテルからタクシーを飛ばして開演15分前に到着、窓口で予約券と実際の切符きっぷを交換した。後5分遅かったらキャンセル待ちのお客にチケットを横取りされるところだった。噂では「電通」が出資していて「電通」のブロードウェイ進出の足がかりになっているらしい。日本国内でも業界筋ではかなりメジャーらしい。内容に関しては万が一にもこれから見る諸兄の為に伏せておくが、文句無く面白い。基本的には光と色、音と笑いを幻想的かつコミカルにミックスしたパフォーマンスで、始まる前には、前列に座っている客にはピニールカップを、1階席の観客全員に白い紙テープしやっかんが配られる。そしてBLUE MANは一切言葉を発し無い。若干の文字でのコミュニケーションは有るものの、英語が一切解

(右ページに続く)

その男

クロ

よく通る声で みんなを呼び寄せる
 その男 厳格な規律を強いる
 その男 やつがいな自由をてなすける
 その男 女から生活感をほぎとる

月のようだね
 グレーの世界に明かりを与える
 太陽よりも平等に
 みんなを照らしている

よく通る声で みんなに指図する
 その男 緑いろの魚の目つきの
 その男 手のひらに世界を映す
 その男 切り取られた横顔をもつ

月のようだね
 追いかける心を釘付けにする
 太陽よりもすばやく
 みんなをつかまえる

よく通る声で みんなを突き放す
 その男 蜘蛛のような手下を従える
 その男 丑三つ時のうたげをひらく
 その男 プライド以上の愛は知らない

月のようだね
 救いのない歌をひびかせる
 太陽よりもやさしく
 みんなに話しかける

詩

中秋

佐藤良示



秋の蒼穹の夜空に輝く月、時季の変化に風情の磨れた今日なれど、中秋の名月を眺める
 とき、私は憶い出す。

父と過ごせし、あの幼少の夜の一時を・・・
 縁川に腰を坐して、觀賞せし、名月・・・
 父は、盃を傾け乍ら私に昔事を語りかけてくれる。

光線の使者が遙か彼方より一年に一度、
 月にスポットライトをあてて、空間に漂う、情景の絆といつ物語を・・・
 私は父の膝に坐り、父のその匂いに包まれて

いつしか睡眠に陥ってゆく・・・
 静謐なる画像に、軒下より奏でる秋の虫
 蟋蟀はチエロ、鈴虫はヴァイオリン、余韻嫋々なりし音色と甘美な調べは時に激しく
 時に優しくそして時に単調に・・・

私は山の頂ぎに佇み、手の掌に月を抱き込む
 心の扉が開かれ、私の官能は自閉症という私の存在そのものを忘れさせてくれる・・・
 去る者日々疎し・・・と思ふけれど

亡父は生存している・・・私自身に・・・
 中秋の名月を観ると私は、憶い出す・・・
 亡父と過ごした、あの夜の一時を・・・

アクアネット
 Let's mind the harbour!

湊文社
 SOBUNSHA

交和パレイユ
 Kowa Pareille
 祝福の宴の演出を
 してみないか。
 03-3371-8264

中山歯科クリニック
 診療時間AM9:00 ~ PM9:00
 水曜・土曜AM9:00 ~ PM6:00
 休診日・祭日
 03-3381-1109

模擬試験

テスト時間は60分。時間前に終わってしまった人は、手を挙げて
ください。それでは、.....、はじめ!

平成11年度 第1回全国統一模試

英語
(制限時間 60分)

問題1 空欄に適切な語を入れてください。

「おまえ、()の()に見えるよ。」
を英語に訳すとします。そうすると、 も もカタカナの外来語
ですから、そのまま

“You look like a ()() ().”

と、ついやってしまう人が多いようです。ところが、 も も
和製英語で、英語での本来の意味とはちょっとずれてしまってい
ます。実際、これを日本語に訳してみると、

「おまえ、退役軍人給料男に見えるよ。」

という、まことに変な日本語になってしまうのです。

われわれは、を「経験のある」の意味で使っています。また、
は、それらしくはありますが、日本人がつくったまったくの造
語です。したがって、正しくは、「経験のある勤め人」ということ
で、

“You look like an ()() ().”
と訳さなくてはなりません。

へえ、なんか変な問題だな。まあ、でも、なんとかできそうか。和製
英語ねえ・・・。

「給料男」ってのは、「サラリーマン」に決まってる。問題は「退役軍人」だ
な。一語で、そんな和製英語あったけなあ? 「リタイアソルジャーの
サラリーマン」? ぬー、それじゃ、つながらないなあ.....。待てよ、
サラリーマンってのは、戦士なんだよな。そうだよ、戦ってるんだ。つ
てことは、「軍人」ってのは、無視していいんだ。じゃあ、「リタイアの
サラリーマン」? まだいまいぢだなあ。退役退役、辞める辞める、
..... クビになる .. ぬ? クビになる?
そっかー、リストラだ。すばらしい。すばらしい発想だぞ。しかも
ちょうどいま流行りじゃん。おおっ、この問題、なかなか頭使わせるい
い問題じゃん。「リストラのサラリーマン」。

ぬ? そんなふう言うかな?
..... 言うだろ。なんせ新しい用語だからな。

そいで、これをみんなそのまま、'restra salary man' と、こうやっちゃ
うってわけね。なるほど、確かに俺もやりかねないなあ。

ふんふん、そうか、本当は「リストラ」って「経験のある」という意味
なのか。そうだよなあ、そういう人がクビになっちゃうんだよなあ。
不条理といえば、不条理な世の中だよなあ。「サラリーマン」が造語つ
ても知らなかった。勉強になるなあ。さて、それで、最後の答えは、つ
と、ええっと「経験がある」のはベテランで、勤め人は、...、ワーキン
グマンかな。いや、ビジネスマンだ。ちがいない。ってことは、'veteran
business man' と、これで完成だな。よっしゃ。

解答は、次ページに掲載した。ここでは、彼の思考過程について検証
してみよう。

>> 「給料男」ってのは、「サラリーマン」に決まってる
>> 「リタイアソルジャーのサラリーマン」? ぬー、それじゃ、つなが
らないなあ.....。

これは良い。そのとおりである。問題は、これ以降。

>> 待てよ、サラリーマンってのは、戦士なんだよな。そうだよ、戦っ
てるんだ。ってことは、「軍人」ってのは、無視していいんだ。
それは無理である。確かに、多くのサラリーマンは日々戦場に赴き、
戦闘に明け暮れているのかもしれない。しかし、それは飽くまでも比喩
であることを忘れてはなるまい。軍人とは、基本的に、時として本物の
血を流すことも厭わず、本物の戦争を商売にする者のことである。

>> 退役退役、辞める辞める、...<中略>...クビになる...ぬ? クビにな
る? そっかー、リストラだ。すばらしい。すばらしい発想だぞ。
「すばらしい」とは、まことに我田引水。感情に左右された自己弁護的
評価と断ぜねばなるまい。この場面で客観的自己評価ができないよう
では、彼の志望校合格は危ういと言わざるを得ない。こじつけ。それが事
実である。

>> 「リストラのサラリーマン」
そんな言い方は、無論のこと、ない。

>> 'restra salary man'
'restra' という英単語は存在しない。
「リストラ」は、「(組織の構造を)再構築する、立て直す」を意味する英
語「リストラクチャ restructure」を日本流に短縮したもの。もともとは
原義に沿って使われていたが、最近では、「(会社の立て直しを期す経費
削減のために)御退社願う」という意味合いで、「リストラする」が流通し
ているのは御存知の通り。しかし、「リストラする」は和製英語である。
試しに、ネイティブに向かって「俺、リストラされちゃったよ」のつもり
で、"I've been restructured." と言ってみるといい。不勉強につき、私自
身試したことはないが、「私は生まれ変わった」というような意味で通用
する可能性はあるだろう。

>> ええっと「経験がある」のはベテラン
「ベテラン」こそ、和製英語である。

>> で、勤め人は、...、ワーキングマンかな。いや、ビジネスマン
だ。ちがいない。ってことは、'veteran business man' と、これで完
成だな。
'working man' は、単に「働いている男」という意味。'businessman' は、
一続きの単語で、実はこれも和製英語。本来は、経営者や管理職にある
人のこと。ゆえに、'veteran businessman' は、「退役軍人実業家」となり、
振り出しに戻る。
そもそもネイティブたちは、事務職の会社員を総称して、日本語の「サ
ラリーマン」というような表現はあまりしないが、敢えて言うなら、
'office worker' にでもなるうか。

まだ問題は続きます。第2問は次号で。宿題にしましょう。(望月)

次号予告

問題2 次の日本語を、外国人にわかりやすい英語に直してください。

- 男 ううっ、もう腹べこぺこだー。
- 女 あたし、ちゃんこが食べたいな。
- 男 ちゃんこ? おおっ、しびれるねえ。
- 女 どうしたの? しわくちのちゃんちゃんこみたい顔して。
ちゃんちゃらおかしいわよ。
- 男 いや、まさにこのちゃんぼらん俺。そんなにちやほやして
くれるなんて、まさに感激雨あられじゃないか。
- 女 茶化さないで。ちゃっかりおごってもらおうっていう、その着
想が愚劣ね。
- 男 いやいや、ちゃんこだけに、ちゃんこくわねえと、ぐへぐへ
ぐへ.....。

来月号より、新連載の予告！ 「じょじ伊東の演技講座」

日常生活の中で、私達が普通に行っていることを、演技としてやろうとするとなかなか出来ない。これは、話すべきことが、事前に決まっていたり、動きも制限されるからである。ありがたいのは、妙に、大袈裟に表現してみたりすることである。

それでは、どうすれば、普通に、日常的に演技することができるのか？

舞台にあがる人でなくとも、どうすれば、自然に振る舞うことができるのかを幾つかの事例に分けて、検証して行きたいと思っています。第1回は『他人との距離間』です。

公演の御案内。

来る、10/8 10/11日、高円寺明石スタジオに於いて、タテヨコ企画第1回公演「隣の部屋」に、じょじ伊東が出演します。開演時間は、8日7:30、9日と10日3:00と7:00、11日3:00となっております。開場は、開演のそれぞれ30分前です。現在、好調稽古中です。

問い合わせ先、03-5497-4260(じょじ伊東)迄。

模擬試験の解答

問題1

欧米人などは、よくこう言う。"Japanese eat everything." 蓋し名言である。そのとおり、日本人は何でも食う。そして、食うのは何も食べ物に限ったことではない。英語だって食う。わが国には、英語をその出自としていながらも、我が国オリジナルの意味を与えられて日本語となった言葉、和製英語というものがあるのである。

日本人向けに調理された和製英語は、元来の意味と多少のズレがあるわけだが、この問題は、そここのところを突いたものである。

「おまえ、(ベテラン)の(サラリーマン)に見えるよ。」

You look like a (veteran)(salary)(man).

You look like an (experienced)(office)(worker).

一面の続き

でいく。思った通りに撮れているものもあるし、判別不能なものもある。それなりのソフトウェアと技術を必要とするにせよ、コンピュータに取り込んだ画像は様々な補正・加工が容易である。色調や形状をいじること、文字や他の画像と組み合わせるようなことも、実にたやすい。写真家はそれを潔しとしないかもしれない。けれども、私の感覚では、これはこれのひとつの方法論である。もともと、コンピュータで加工することも含めた上でのデジタル・カメラなのだ。本質的に通常の写真機とは異なる存在なのである。

取り込んだばかりの画像を眺めると、果たしてこれは私が見たものを忠実に再現している

のだろうか、という疑問が過る。給水塔のころまで駆けていって確かめたいような衝動にかられるが、既に、辺りは夕闇の中、私の見た給水塔はそこにはないだろう。コントラストや色バランスを調整しながら、こんな色じゃなかったぞ、などと試行錯誤しているうちに、すっかり何がオリジナルかを見失ってしまった。もちろん、それはそれでかまわないのだが。

カメラで時間と空間を切り取る。それはどんな行為なのか。際限のない宇宙の、ある瞬間の美を、何とか捕まえようとする、人間の偉い抵抗なのだろうか。立ち止まって考えよう、私

めると限りがないので、これは別の機会に譲るとしても。

思い至った、私がカメラで宇宙から切り取るうとしていたものは、暮れゆく阿佐ヶ谷団地の風景なのではなく、自分の心なんだな、と。そして、実のところ、そんなことは不可能なんだ、とも。

一期一会。暫く振りにこの言葉を思い出した。君も私も給水塔も、この世界の何もかもが、希少なバランスの上に存在し、留め処のない空間と時間の中で、私たちは出会ったのだ。

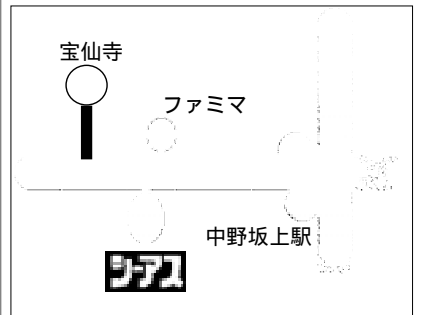
何年かのち、何十年かのちに、給水塔の画像を眺めて、私は何を思うのだろうか。給水塔はまだ存在するだろうか。そして、君は、私は…。

(全六)

1クラス4人までの少人数制学習塾



中野区本町2-50-12 ドエル中野201号
03-3379-1451



編集後記
からす新聞第十七号、無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発刊予定日は十月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

来社見学を御希望の方は左記のところへ。
丸ノ内線新中野駅徒歩〇分

